

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00410)

事務事業名称	水辺環境の整備				款	05	項	03	目	03	事業	002	整理番号	398	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3425		昨年度整理番号	403					
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	05							
令和 5年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内3河川（神田川・善福寺川・妙正寺川）の流域住民 ・一般利用者	根拠法令等 (1) 河川法 (2) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条表78
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	河川を健全な状態に保つよう、河川管理施設の調査・補修等を適切に行い、区民が安心して暮らせる治水安全性を確保する。 自然環境に配慮した河川維持管理や、住民等との連携意識啓発を進め、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。	活動指標 指標名（ 1 ） 水鳥一斉調査（20年度からの累計） 指標説明 指標名（ 2 ） 善福寺川に関する普及啓発活動（20年度からの累計）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	老朽化した河川管理施設（護岸・河床・河川管理用通路等）の詳細点検調査や補修工事を行う。 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に沿い、区民参加型の啓発イベントの実施、環境活動の支援などを行う。 都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。	成果指標 指標名（ 1 ） みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合 指標説明 指標名（ 2 ） 区民意向調査による【区民】 指標説明

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	14	15	15	16	16	17	100.0	96.8
活動指標 (2)	2 回	14	15	15	16	16	17	100.0	
成果指標 (1)	3 %	77.5	80	76.0	80	76.0	80	95.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	2,796	1,934	1,829	1,873	1,814	122,448	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	13,432	7,509	8,068	8,318	8,873	15,305	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	16,228	9,443	9,897	10,191	10,687	137,753		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	16,228	9,443	9,897	10,191	10,687	137,753		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 398

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	696
	水鳥一斉調査謝礼金の支出	12	人	159
	「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウム謝礼金の支出	5	人	190
	その他 (保険料、事務費ほか)			769
取組成果	<p>善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出関連では、小学生及び保護者264名が参加して区民と協働で取り組む水鳥の一斉調査を実施しました。</p> <p>「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムでは、水辺や野鳥に係る講演、小学生から高校生による善福寺川に関する活動報告を行い、3名のパネリストを招き遅野井川親水施設の整備や環境活動に関わった井荻小学校のOB・OGのエピソードを基に、小学生時代の環境教育が後の人生にどのような影響をあたえたのかについてディスカッションを行いました。来場者は156名でした。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>水鳥一斉調査は、令和5年度に沿川の小学校17校から参加人数264名の規模で行い、年々参加希望者が増加傾向にあります。増加する参加者に対応するため、解説員の一層の確保を図る必要があります。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムは、行動方針に関連した行政の事業や民間団体の活動の報告等を通じて、一般区民の方々へ善福寺川の環境や動植物に対する関心度を高め、共感の輪を広げていく重要な取組で、身近な水辺環境を通じて、生物多様性の創出・保全、雨水浸透による水循環などグリーンインフラの重要性を知る場になります。そのため、シンポジウムのプログラムは、これから進める区内のグリーンインフラに関わる取組状況や、将来を担う子供たちをはじめ若い世代が関心を持てる内容にするなど工夫する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>一級河川である区内3河川は、都条例に基づき区が維持管理を担っています。区では、東京都第三建設事務所において河川維持管理計画が策定された後に、それを基本とした補修計画を作成する予定となっております。</p> <p>補修にあたっては、施設の損傷が進行する前に対策を行い、補修費用の低減や平準化を図る予防保全型管理への移行を進める必要があります。そのためには現状の状態など基本情報の整理や、毎年行われる河川点検の結果等をもとに、計画的に調査設計・工事を行っていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>6月の都立善福寺公園主催のイベントに参加し、「遅野井川親水施設」の区民協働の取組について、啓発グッズを活用して普及啓発を行いました。同様の取組は10月にも予定しています。また、初の取組となる水鳥一斉調査の解説指導員を育成する講座を、地域課主催の「すぎなみ地域大学」で10月から12月にかけて6回開催することし8月より募集を開始しました。水鳥一斉調査、シンポジウムについては1月の開催に向けて、グリーンインフラの取組とも連携を図りながら内容の検討を進めており、10月中旬を目途に一部業務を委託化して準備を進めていきます。河川維持管理については、河床洗掘が顕著な4箇所の詳細調査の委託契約を7月に締結し業務を進めています。また今後の河川維持管理を見据え実施する河川縦横断測量は、10月以降に委託着手する予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>善福寺川沿いなどの水辺は、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えているだけでなく、動植物の生態系や水循環など環境面において重要な役割を果たしています。将来を担う子供たちをはじめ幅広い世代の多くの区民にこの事業に関心を持ってもらうことで、都市環境における生物多様性に配慮した良好な水辺環境の再生・創出が図られていくものと考えています。そのためにも、グリーンインフラの取組とも連携を図りながら、毎年実施している各種啓発活動を、関係機関をはじめ区民と協働で継続して取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、河川管理施設については、治水面の安全性や施設等の安全確保のために必要な各種取組を、東京都と連携を図りながら行ってまいります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>水辺環境の整備を今後も区民とともに継続して実施していくために、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針が策定から10年以上経過したことから、近年の気候変動やグリーンインフラの取組などを踏まえながら更新の検討を進めます。</p> <p>河川の維持管理の取組については、引き続き東京都と連携を密に図りながら、護岸、転落防止柵など老朽化が進行していく河川管理施設の状況を把握し、適切な維持管理のあり方などを検討するとともに、河床や水量など河川の現状を把握するための各種調査を、東京都と連携を図りながら計画的に実施していく必要があります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00423)

事務事業名称	公園の維持管理	款	05	項	04	目	01	事業	001	整理番号	411
現担当課名	みどり公園課	係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	416	
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成						予算事業区分	既定事業			
事業開始											
令和 5年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理			

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 3 3 5 園 公園利用者	根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる公園にする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理を行う。 多世代の方様々な目的で利用される公園に日頃寄せられる要望について、現在のニーズに合ったルールへと見直しを進める。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								97.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	1,194,584	1,270,806	1,246,551	1,408,551	1,371,705	1,585,787	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	171,689	175,839	168,658	149,258	155,272	142,169	
	上記以外の職員	7 千円	134,505	132,668	138,293	139,396	145,427	166,366	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,500,778	1,579,313	1,553,502	1,697,205	1,672,404	1,894,322		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,500,778	1,579,313	1,553,502	1,697,205	1,672,404	1,894,322	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 411

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	園地清掃業務委託		303	園
	樹木、花壇、除草等管理委託	335	園	272,571
	大規模公園等の管理運営委託	9	園	281,015
	その他 (その他の園地維持管理費ほか)			558,185
取組成果	<p>公園利用者が快適にご利用できるよう利用頻度に応じた定期的な清掃をはじめ、計画的な樹木の剪定、除草などを行いました。また、各種設備の保守や公園施設の修繕、夜間警備パトロールの委託等を行い、安全性の確保に努めました。</p> <p>公園利用ルールに関するアンケートを実施し、公園利用ルールに対する区民の意識を把握しました。また、聴くオフ・ミーティングを行い、公園の使い方を見直しに向けたアイデアを集めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	公園を良好な状況に保つため、定期的な園地清掃、樹木管理、各種点検・設備保守等の維持管理を行いました。また、アンケート等を踏まえ、新しい公園利用ルールの検討を行い、令和6年7月から試行を始めました。
事業の方向性・改善策	園地清掃業務等の日常的な管理を継続して実施することや、老朽化が進む公園施設 (遊具等) の更新を図ることで、多世代が安心して安全に利用いただけるよう、今後も引き続き、公園施設の適正な維持管理に努めていきます。また、試行している新たな公園ルールへのアンケート・意見をまとめ、本格実施に向けた検討を行います。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	公園の利用状況や公園施設の状態等を踏まえ、適切な公園施設等の維持管理を行っていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00425)

事務事業名称	遊び場の維持管理			款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	412
現担当課名	みどり公園課		係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	417		
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和46年度												
令和 5年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立遊び場 (17箇所) 遊び場利用者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 先行取得用地の活用と管理について
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園の先行取得用地や他の公共団体、地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。 施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								92.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	52,996	56,598	51,355	39,437	36,597	70,195	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	23,654	20,553	23,614	19,034	20,840	17,124	日常維持管理の一部業務の委託化、鍵の開閉等管理業務の箇所数増、労務単価上昇等のため事業費が増となっています。
	上記以外の職員	7 千円	1,838	2,940	1,839	2,942	1,523	4,188	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	78,488	80,091	76,808	61,413	58,960	91,507		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	78,488	80,091	76,808	61,413	58,960	91,507	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 412

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	遊び場の管理運営 (光熱水費、日常保全等)		17	所
	遊び場の樹木等管理	17	所	8,742
	その他 (遊び場の清掃業務、維持補修費ほか)			10,405
取組成果	遊び場113番 (300.28㎡) は富士見ヶ丘北公園の拡張、遊び場118番 (6,437.22㎡) は馬橋公園の拡張のため、遊び場を廃止し整備を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	定期的な遊び場園地清掃、日常保全、樹木管理及び遊具改修を行いました。
事業の方向性・改善策	遊び場は区立公園の補完的な役割を担っており、貴重なオープンスペースとして整備し開放しています。 今後も、地域の補完的役割を担っている遊び場の確保を図るとともに、遊び場利用者が安全で快適に利用していただけるよう適切な維持管理に努めていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	遊び場の利用状況等を踏まえ、適切な維持管理を行っていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00426)

事務事業名称	公園等の整備					款 05 項 04 目 01 事業 003	整理番号	413	
現担当課名	みどり公園課	係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583	昨年度整理番号	418
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成					予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 03	施策 11	計画事業 07	06	08	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和 5年度担当課名	みどり公園課					事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立公園、児童遊園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民がグリーンインフラを感じ、学び、考え、行動できるよう、公園整備等においても取組を推進する。区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して安全・安心に生活できるとともに、乳幼児から高齢者まで遊びや休息、身体づくりの場として活用できる。	活動指標 指標名 (1) 当該年度に新設、拡張整備した公園面積 指標説明 指標名 (2) 区立公園の面積 (累計)
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	地域住民の意見を聞きながら整備内容を検討し、公園の新設及び拡張整備を行う。区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。	成果指標 指標名 (1) 区民一人当たりの都区立公園面積 指標説明 公園・緑地等面積 ÷ 人口【社会】 指標名 (2) 身近な公園の充足率 指標説明 身近な公園から250mの範囲の面積 ÷ 杉並区面積 × 100

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m ²	9,703	361	361	1,587	1,587	14,058	100.0	96.0	
活動指標 (2)	2 ha	66.71	66.75	66.75	66.91	66.91	68.30	100.0		
成果指標 (1)	3 m ² /人	2.21	2.22	2.25	2.27	2.27	2.29	100.0		
成果指標 (2)	4 %	83.49	83.92	83.92	83.92	83.92	83.97	100.0		
事業費	5 千円	2,486,184	702,209	670,277	1,230,849	1,181,393	1,719,884	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	67,141	56,056	64,294	59,546	64,725	64,395	令和5年度は大規模公園（馬橋公園、（仮称）杉並第八小学校跡地公園、下高井戸おおぞら公園）の整備があり、令和4年度に比べ事業費が10%以上増加しています。公園整備の取組と成果をより明確化するため、活動指標のひとつを「当該年度に整備した公園面積」から「区立公園の面積（累計）」に変更しています。また、成果指標のひとつを「区立公園の面積」を「身近な公園の充足率」に変更しています。	
	上記以外の職員	7 千円	368	0	368	0	190	761		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,553,693	758,265	734,939	1,290,395	1,246,308	1,785,040			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	981,972	229,446	129,888	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	981,972	229,446	129,888	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,571,721	528,819	605,051	1,290,395	1,246,308	1,785,040		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 413

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	荻外荘公園復原整備	1	園	127,709
	馬橋公園拡張整備工事	1	園	36,217
	すぎはち公園整備工事	1	園	130,700
	富士見丘北公園拡張整備実施設計委託工事	1	園	133,609
	その他 (下高井戸おおぞら公園第二期整備工事ほか)			753,158
取組成果	<p>令和4年度に着工した荻外荘公園復原整備については、令和6年12月の開園に向けて着実に工事を進めました。馬橋公園拡張整備では防災機能を備えた公園として整備を行い、工事を完了させたことで地域の防災力を向上させることができました。また、令和7年度の開園を目指して、すぎはち公園整備と下高井戸おおぞら公園第二期整備に着手しました。その他、富士見丘北公園の拡張整備及び、天沼いこい公園整備を行い、公園面積を増やすことができました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年度は富士見丘北公園の拡張、(仮称)天沼一丁目公園の整備と既存公園の拡張と新規公園の整備を行うことができ、1,500平米あまりの公園面積を増やすことができました。公園整備は着実に進んでいますが、人口も増加しており、一人あたりの公園面積は目標値の半分程度にとどまっています。公園は区民に憩いや安らぎを与え、防災上も安全な公共空間となるため、今後も目標値に向けて引き続き整備していく必要があると考えています。そのために、国、都、企業や個人の大規模敷地等の資産の動向を注視し、機会を捉えて的確かつ迅速に対応していくとともに、長期的な視点を持って区民の理解を得ながら取り組んでいく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>(仮称)下高井戸四丁目第二公園の設計にあたっては、近隣の小学校・児童館等の協力を得て子どもたちへ直接アンケート調査を行いました。その結果、インクルーシブ遊具やオリジナル遊具等を設置し、子どもたちの意見を取り入れた公園として整備する予定です。 今後も公園の設計にあたっては、大人だけでなく子どもたちの意見を聞くことが重要となってきます。周辺の公園の状況等を踏まえながら取り入れる意見を選択していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>荻外荘公園については、令和6年12月の開園に向けて引き続き復原整備を進めるほか、展示休憩施設は令和6年6月に工事に着手し、令和7年5月のしゅん工に向けて整備を進めます。 (仮称)下高井戸四丁目第二公園については、公園整備に着手し、今年度内の開園に向けて整備を進めます。 すぎはち公園は令和7年8月の開園に向けて、下高井戸おおぞら公園は令和7年度中の開園に向けて、工事を着実に進めます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>みどりの基本計画における長期的な目標である区民一人当たりの公園面積5㎡に向け、着実に整備を進めています。しかし、公園整備には多くの時間と費用を要するため、行政や企業、個人の敷地など土地の異動の動向を注視し、機会を捉えて迅速に対応していく必要があります。国や都の補助金を活用し、区民の理解を得ながら事業を実施します。 また、公園を地域の資産と捉え、大人から子どもまで、多世代の意見を取り入れた公園整備を進めます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘公園については、令和4年6月に着手し、令和6年12月に開園します。また追加用地に建設する展示休憩施設については令和6年6月に着手し令和7年7月の開館に向け整備を進めます。 すぎはち公園については、令和7年8月の開園に向けて引き続き公園整備工事を行うとともに、令和6年度中に屋内球戯場改修工事に着手し、公園整備工事と連携を図りながら工事を進めます。 下高井戸おおぞら公園は、令和7年度中の開園に向け、引き続き都と役割分担を図りながら公園拡張整備工事を進めます。 (仮称)下高井戸四丁目第二公園は、令和6年3月の開園に向け整備を進めます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00427)

事務事業名称	公園のリニューアル			款	05	項	04	目	01	事業	004	整理番号	414
現担当課名	みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	419		
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成							予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	09					
令和 5年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立公園、児童遊園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園のリニューアルにより、多世代が利用できる安全で快適な公園利用を図る。 ○公園敷地に雨水貯留・浸透施設の整備を行い、近年多発する都市型水害の軽減を図る。	活動指標 指標名 (1) 多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数 指標説明 指標名 (2) 区立公園内の改修した遊具数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設公園の全面、または部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 老朽化した遊具などの施設を改修する。 ○雨水流出を抑制するため、公園敷地に雨水貯留浸透施設を整備する。	成果指標 指標名 (1) 「公園や広場」が良いと思っている人の割合 指標説明 区民意向調査による【区民】 指標名 (2) 遊具点検の結果、「全体的に健全」とされるA・B判定の遊戯施設の割合 指標説明 A・B判定の遊戯施設数/区立公園内の遊戯施設数×100

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 園	7	6	6	6	5	9	83.3	95.3
活動指標 (2)	2 基	46	73	73	31	31	29	100.0	
成果指標 (1)	3 %	82.1	80	79.8	80	80.0	80	100.0	
成果指標 (2)	4 %	69.6	61.6	61.6	69.6	69.6	72.8	100.0	
事業費	5 千円	228,748	248,436	238,834	249,343	237,539	466,045	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	28,348	26,269	26,946	27,445	27,350	28,094	公園整備の取組と成果をより明確化するため、活動指標を「全面・部分改修公園数」から「多世代が利用できる公園づくり基本方針に基づき改修した公園数」に、「公園施設を改修した公園数」を「区立公園内の改修した遊具数」に変更しています。また、成果指標に「遊具点検の結果、「全体的に健全」とされるA・B判定の遊戯施設の割合」を追加しています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	257,096	274,705	265,780	276,788	264,889	494,139		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	22,011	15,155	20,563	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	22,011	15,155	20,563	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	235,085	259,550	245,217	276,788	264,889	494,139	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 414

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	宮下橋公園区公園施設改修工事	5	園	69,414
	公園施設長寿命化計画施設改修工事	20	園	58,634
	四宮森公園球戯場改修工事	1	園	36,135
	木製遊具改修工事	1	園	9,683
	その他 (雨水流出抑制対策工事・設計委託・消耗品購入ほか)			63,673
取組成果	<p>「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、宮下橋公園区内の5公園について改修工事を行うとともに令和6年度に改修工事を予定している済美公園を中心とした9公園のワークショップを開催しました。公園施設の改修では「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、20公園で公園遊具の改修工事を行ったほか、四宮森公園球戯場の改修工事を行いました。また、阿佐谷北第二児童遊園の木製遊具の改修工事を行いました。雨水流出抑制対策として、雨水貯留浸透施設 (合計14立米) を大宮児童公園と三谷公園に設置しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>多世代が利用できる公園基本方針に基づき行っている宮下橋公園区施設改修工事や公園施設長寿命化計画に基づき行っている施設改修工事において遊具改修等を行い、着実に遊具の更新が進んでいます。球戯場やトイレについても老朽化が進んでいることから、長寿命化計画に基づき計画的に改修工事を行っていきます。令和5年度は計画していたトイレ改修工事及びトイレ建替設計委託が契約不調となりました。令和6年度は計画に遅れが出ないよう発注時期の平準化や発注方法を考慮しながら適切に改修を進めていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>公園において毎年10m³程度の雨水貯留・浸透施設を設置し、雨水流出抑制対策を進めておりますが、雨水貯留・浸透施設は地中に設置しているため、このような取組が公園利用者に認知・理解にくいことが課題となっています。そのため、グリーンインフラの機能を周知・普及させるとともに、グリーンインフラの活用を地域に広げていく必要があります。</p> <p>また、既存の公園には地下埋設物や樹木の根が支障となり雨水貯留・浸透施設を設置できない場合もあり、公園改修に合わせて設置スペースを確保していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>多世代が利用できる公園づくりは、令和5年度に行ったワークショップで改修案をとりまとめた済美公園を中心とする9公園の工事を進めます。</p> <p>老朽化した公園施設については、16公園で遊具の改修工事を進めるほか、松庵公園球戯場改修工事を行います。また、阿佐谷中央公園、阿佐谷かりん公園等の5公園で便所の改修工事を行います。</p> <p>また、3公園において雨水流出抑制対策を行います。</p>
事業の方向性・改善策	<p>多世代が利用できる公園づくりは、「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針」に基づき、区民等の意見を参考にしながら、複数の公園を対象とした機能分担・保管を図りつつ、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる公園の改修を進めます。</p> <p>老朽化した遊具や球戯場・便所については、「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、利用者が安全で快適に利用できるように、計画的な改修を進めます。</p> <p>また、都市型水害による被害の軽減を図るため、雨水流出抑制対策を進めます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>公園や公園施設の改修については、「杉並区多世代が利用できる公園づくり基本方針」及び「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき計画的に改修工事を行います。</p> <p>また、水害多発地域周辺の公園を中心に雨水流出抑制対策を行うことで、都市型水害による被害の軽減を図っていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00428)

事務事業名称	みどりを育てる				款	05	項	04	目	02	事業	001	整理番号	415	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	420					
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	03	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	みどりに関心のある区民、みどりに関わるボランティア等活動団体	根拠法令等	(1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 (2) すぎなみ公園育て組実施要綱、花咲かせ隊実施要綱、杉並区「みどりのボランティア杉並」設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	みどりの持つ多様な機能や価値について理解を深め、区民が自分ごととしてみどりを守り、増やす意識の醸成を図る。 みどりに関わるボランティアを育成し、活動を支援することで、区民主体でみどり豊かなまちづくりを目指す。	活動指標	みどりに触れ合えるイベントの開催数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	みどりの新聞や緑化副読本の発行、みどりのイベントや講座の開催等を行う。 みどりのボランティア杉並の育成や、公園育て組・花咲かせ隊の活動支援として、必要な資器材や情報の提供等を行う。	指標名 (1)	みどりの講座の開催数
		指標名 (2)	
		成果指標	植物を育てている区民の割合
		指標名 (1)	令和 4年度区政モニターアンケート調査の実績値【社会】
		指標名 (2)	公園のボランティア組織率
		指標説明	ボランティアが入る公園数 ÷ 全公園数 一公園に複数団体が存在しても1として扱う。【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	3	3	3	3	3	3	100.0	92.3
活動指標 (2)	2 回	2	2	2	2	2	2	100.0	
成果指標 (1)	3 %	0.0	0	83.7	90	83.7	90	93.0	
成果指標 (2)	4 %	31.74	100	32.24	100	31.45	100	31.5	
事業費	5 千円	15,425	42,103	41,180	28,382	26,188	20,219	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	54,435	50,273	56,548	42,074	57,256	46,216	令和 5年度はみどりの基本計画検討委員会にかかる委員謝礼等が事業費に含まれていましたが、単年度の検討委員会であったことから令和 6年度は事業費が減少しています。 区民が自分ごととしてみどりを守り、増やす意識の醸成が進んでいることを示す、より適切な指標として成果指標 (1) を変更するとともに活動指標 (1) を変更しています。
	上記以外の職員	7 千円	1,103	735	1,103	0	761	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	70,963	93,111	98,831	70,456	84,205	66,435		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	70,963	93,111	98,831	70,456	84,205	66,435	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 415

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	花咲かせ隊公園花壇管理資材の給付	3	回	9,649
	みどりの新聞「みどりとひと」の発行	34,000	部	1,496
	緑化副読本「みどりとわたしたち」の発行	4,400	部	1,694
	公園育て組資材の給付	44	団体	917
	その他 (みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催等)			12,432
取組成果	<p>みどりの新聞は町会・自治会協力のもと回覧板で周知するとともに区ホームページに掲載し、緑化副読本は区内小学校に配布し授業等への活用を図ることで、区民がみどりに親しむことのできるきっかけづくりに貢献しました。花苗等の資材提供などによって花咲かせ隊、公園育て組を支援し区民が主体的に公園や市民緑地などの維持管理の一部に関わることを推進しました。そのほか、みどりに関わるボランティアの入門編と位置付けたみどりのボランティア杉並では、区の実施する活動への参加を通じて、みどりに関する様々なボランティアに参加者の活動が広がることを推進しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>落ち葉感謝祭などは、みどりに触れ合えるイベントとして定着しており、親子連れや学生など多くの方が来場しており、今後も継続して開催していきます。</p> <p>緑化副読本は、小学5年生向けにみどりの役割や価値をわかりやすく説明していますが、更にもどりに対して興味を持ってもらえるよう、緑化副読本を活用した環境教育を区やボランティアなどが学校と連携して取り組んでいくことも必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>多くの区立公園では花咲かせ隊や公園育て組といったボランティアが、区の実施する管理に加えて、花壇管理や清掃などを行っています。公園でのボランティア活動は、公園の魅力高め、地域住民の交流や防犯性の向上にもつながっています。しかしながら、ボランティア構成員の高齢化によって活動が縮小または停止している団体もあり、新規メンバーの獲得が課題となっています。</p> <p>民有のみどりが全体の7割を占め、まとまった緑である屋敷林や農地の減少が続く杉並区においては、区民一人ひとりがみどりに関心を持ち、自分ごととしてみどりに関する活動に取り組む必要があります。そのため、みどりの基本計画の改定にあたっては、一人ひとりがみどりの取組を実践するよう行動変容を促す内容とすることが課題となります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>みどりに触れ合える機会の創出のため、みどりのイベントをボランティアとの協働によって5月に開催し、約2450人の来訪者がありました。そのほか12月に落ち葉感謝祭、翌年3月に炭焼き体験会を予定しているため、ボランティアと協働を図りながら準備を進めていきます。年3回実施する花咲かせ隊 (135団体) への花材配布は1回目終了しました。花材配布以外にも公園を管理するボランティアへの支援を適宜行っていきます。みどりの新聞は年2回発行しており、7月に1回目の発行を行いました。次は11月を予定しており、ボランティアとの協働によって記事を作成していきます。緑化副読本は3月に区内学校に配布できるよう印刷準備を進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>緑化副読本は現状、区内の学校へ配布していますが、学校での更なる活用を図るため、区民との協働により環境教育の充実を図っていきます。</p> <p>メンバーの高齢化によるボランティア活動の縮小については、新規メンバーの獲得に焦点を当て、区広報や区公式ホームページを活用して、ボランティア活動を積極的にPRしていきます。特に若年層のメンバー獲得については、SNSを活用したPRにも力を注いでいきます。これらの取組を含め、みどりの基本計画の改定を契機に、一人ひとりが自分ごととしてみどりの取組を実践することを目指していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>みどりの基本計画改定の主な考え方の一つである、みどりの持つ多様な機能や価値について理解を深め、自分ごととしてみどりととらえられる区民を増やすため、普及啓発を現状予算の中でより強化する見直しを進めていきます。</p> <p>学校のニーズに合わせた講師の紹介など、区民との協働による積極的な環境学習の展開によって、環境学習を充実させることで事業の改善を図っていきます。</p> <p>花咲かせ隊や公園育て組など、身近な公園におけるボランティア活動は、区民が主体となってみどりに関わる取組であるため、引き続き活動を支援するとともに、ボランティア活動のすそ野が広がるよう、SNSを積極的に活用するなどPR方法を見直していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00429)

事務事業名称	みどりを創る			款	05	項	04	目	02	事業	002	整理番号	416
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの事業係			連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	421		
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	02					
令和 5年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	緑化の助成（個人、事業者）緑化計画（個人、事業者） 公共施設の樹木管理（区立学校、区立施設）寄付樹木（個人、事業者）	根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 (2) 杉並区接道部緑化助成要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創る。 緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、まち全体の緑地を確保する。	活動指標 指標名（ 1 ） 接道部緑化助成延長 指標説明 指標名（ 2 ） 緑化計画の受理件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	個人の建物の屋上・壁面に緑化をする時や、道路に接した部分に生けがきなどを作る時の費用の一部を助成する。 区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出（接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保）するよう義務付け指導する。	成果指標 指標名（ 1 ） 接道部緑化助成率 指標説明 整備延長 ÷ 整備計画延長（350m）【行政】 指標名（ 2 ） 計画緑地面積達成率 指標説明 計画緑地面積 ÷ 基準緑地面積【行政】 基準緑地面積：敷地面積 ×（1-建蔽率）×緑化率

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m	146	350	152	350	127	350	36.3	93.0	
活動指標 (2)	2 件	1,804	1,800	1,611	1,800	1,623	1,800	90.2		
成果指標 (1)	3 %	42	100	43	100	36	100	36.0		
成果指標 (2)	4 %	122	100	115	100	110	100	110.0		
事業費	5 千円	111,094	122,209	114,317	126,523	117,636	129,627	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	40,407	33,801	37,834	38,243	34,850	31,124		
	上記以外の職員	7 千円	7,350	5,513	7,356	5,517	7,233	6,091		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	158,851	161,523	159,507	170,283	159,719	166,842			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	158,851	161,523	159,507	170,283	159,719	166,842		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 416

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	公共施設の樹木維持管理委託	208	か所	113,404
	寄附樹木の受領	11	本	1,497
	接道部緑化助成	11	件	1,372
	苗木の育成委託	5,900	本	1,236
	その他 (緑化計画の指導・受理、みどりのリサイクルほか)			127
取組成果	208箇所の公共施設 (66箇所の学校を含む) の樹木剪定等の維持管理作業をし、各施設の樹木の安全性、快適性を確保しました。また、1,623件の緑化計画の届出を受けました。内容は確認申請時の敷地面積が200㎡以上が605件、200㎡未満が1,018件でした。受領した緑化計画による計画接道部緑化延長は3,493.57m、計画緑地面積は25,155.38㎡、計画樹木本数は高木1,704本、中木7,443本、低木42,553本でした。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	緑化計画の届出において、全体の計画敷地面積 (189,239.3㎡) に占める計画緑地面積 (25,155.38㎡) は13.3%でした。緑被率25%を目指すにはさらに計画緑地面積を増やすための工夫が必要となります。確認申請時に緑化を義務づける緑化計画制度は緑化を推進する効果の高い制度ですが、敷地の矮小化により接道部緑化などの緑化スペース自体の確保が困難となってきたことが課題として挙げられます。そのため屋上などの空間を利用した緑化の積極的な活用が重要となりますが、所有者の費用負担軽減のために設けている助成制度の利用が進まないことも課題となっています。
課題・分析 (2 / 2)	緑化計画で創られるみどりは、道路から見える接道部緑化や壁面緑化といったみどりのベルトを形成し、みどり豊かなまちをつくるという点で有効です。また、緑地であることは雨水を一時的にためる効果を持っています。緑化計画や緑化助成の取組を推進することで、まちの景観の向上、みどりのベルトの形成、雨水流出抑制といった、みどりの持つ機能を地域の課題解決に活用するグリーンインフラの取組を推し進めることが可能となります。そのため、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりに関する取り組みを行い、グリーンインフラの活用が地域に広がるよう、みどりに関する総合的な計画となるみどりの基本計画の改定を進めます。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	8月15日現在、緑化計画書約250件、緑化計画概要書約460件受理し、9,384.61㎡の緑地を創出しました。年度末までに緑化計画書約600件、緑化計画概要書約1100件の提出が見込まれます。また、接道部、屋上緑化助成では助成に向けた相談を3件受けており、実現すれば接道部緑化14.9m、屋上緑化3.4mを創出する見込みです。年度末までに接道部8件、屋上・壁面2件程度の申請が見込まれます
事業の方向性・改善策	改定作業を行っているみどりの基本計画の改定においてさらなる新たなみどりの創出を図るために、敷地規模に合わせてみどりを着実に創出できる緑化計画の指導については、これまで以上の緑化を推進できるよう制度の検討を行います。 また、接道部緑化助成などの助成制度についてはより区民が利用しやすい制度となるよう検討していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	令和7年度はみどりの基本計画の改定の趣旨にしたがい各事業の見直しを行ったうえで、令和8年度から新規または改定した事業を実施する予定です。特に、緑化計画書、緑化計画概要書については効果的にみどりを保全・創出できる制度となるよう見直しを行います。また、接道部緑化助成や屋上・壁面緑化助成については利用しやすい制度となるよう対象や方法を含めた検討を行います。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00430)

事務事業名称	みどりを守る				款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	417	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの事業係		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	422					
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	保護樹木等の補助：個人、事業者 農業従事者	根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 (2) 生産緑地法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護する。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。 生産緑地地区の指定により良好な都市環境の維持・形成に資する農地を保全する。	活動指標 指標名（ 1 ） 貴重木指定本数 指標説明 指標名（ 2 ） 保護樹木指定本数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害賠償保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。 生産緑地の指定により30年間は原則生産緑地を解除（買取り申出）することができない。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 貴重木保全率 指標説明 貴重木指定本数 ÷ 貴重木保全計画本数【行政】 指標名（ 2 ） 保護樹木前年度比率 指標説明 令和5年度樹木数 ÷ 令和4年度樹木本数【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 本	74	74	75	74	75	75	101.4	88.3
活動指標 (2)	2 本	1,371	1,600	1,330	1,600	1,295	1,500	80.9	
成果指標 (1)	3 %	74	100	101	100	101	100	101.0	
成果指標 (2)	4 %	95	100	97	100	97	100	97.0	
事業費	5 千円	39,230	45,105	38,910	43,539	38,458	64,137	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	41,458	39,427	41,182	36,343	43,483	33,003	・保護樹木約300本、保護樹林7ha分の計画上の指定ができなかったため、執行残となっています。 ・成果指標指標名（ 2 ）保護樹木継続率については、より適切な表現とするため、保護樹木前年度比率に変更します。
	上記以外の職員	7 千円	1,470	1,838	1,471	1,839	1,142	1,904	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	82,158	86,370	81,563	81,721	83,083	99,044		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	82,158	86,370	81,563	81,721	83,083	99,044	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 417

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	607	件	22,754
	区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	6,777
	市民緑地の維持管理	3	所	3,612
	生き物生息場所の保全	3	所	480
	その他 (生産緑地地区標識撤去・設置ほか)			4,835
取組成果	<p>令和5年度の保護指定は、樹木5本、生けがき80.3mを新規指定した一方で、樹木40本、生けがき89.1mを解除した結果、樹木は1,295本、生けがきは5,960.5mとなりました。また、保護樹林は1件519m²を新規指定するとともに、樹林の成長により1,421m²増加しました。解除については1件1,623.1m²を行なったため、全体として316.9m²増加し、樹林面積は330,949.83m²となりました。貴重木については樹木診断を2本、剪定助成を3本、保全工事3件を行い、その保全に努めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>保護樹木の新規指定よりも解除本数の方が多く、保護樹木の減少に歯止めがかかりません。解除の理由は枯死・衰弱が最も多く、近年の猛暑による樹勢への影響も一因と思われます。一方で、剪定などの適正管理をしていれば枯死等を防ぐことができる樹木もあるのではないかと考えます。その他に、相続などによる土地の売却、住宅建設、苦情、近隣への配慮などが解除理由として挙げられます。特に、苦情や近隣への配慮による指定解除については、所有者の樹木維持管理に対する費用的・労力的な負担や近隣住民のみどりに関する理解が充分ではないといったことが課題となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>保護指定の対象となる樹木などは、杉並の原風景の形成、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の向上といったグリーンインフラとしての機能を有しており、杉並区が目指す「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するための重要な要素となります。そのため、みどりに関する総合的な計画となるみどりの基本計画の改定にあたっては、区民一人ひとりが自分ごととしてみどりに関する取り組みを行い、グリーンインフラの活用が地域に広がる計画となるよう改定作業に取り組んでいます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>市民緑地1カ所 (さかうえいこいの森) 466.97m²を新規に開設するための整備工事を行っており開設は10月上旬を予定しています。また、市民緑地の新規指定に向けた戸別訪問を59件行いました。保護指定については樹木では新規指定2本解除は7件 (10本)、樹林では1件 (4,633m²) 生けがきでは3件 (74.8m) がありました。解除の理由としては建築行為に伴うもの5件、土地の売買2件、衰弱2件、苦情1件、形状の変更 (生け垣をフェンスに変更) 1件となっています。年度末までに保護樹木約1,250本、保護樹林約326,000m²、生けがき約5,900m分の補助金を交付する予定で執行率90%を見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>改定作業を行っているみどりの基本計画において、減少が続く民有のみどりの保全の強化を図るため、保護樹木等の効果的な支援の在り方について、他自治体の制度や運用実績等をヒアリングするなど、見直しに向けた検討を進めています。また、建築行為に伴う緑化計画において既存樹木を残存することのメリットによるみどりの保全や市民緑地制度の活用を図り、まとまったみどりの保全を推進します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>現在、みどりの基本計画の改定とともに保護樹木等指定制度の見直しに向けた検討を行っています。樹木剪定費など維持管理費としては現在の補助金では不十分であるとの指摘を受け、既存のみどりの保全に向けた実質的な支援となるよう内容の改善を検討し令和7年度に方向性を決定、令和8年度から改定し事業を実施します。</p> <p>令和7年度はいこいの森の新設を令和6年度の1箇所から2箇所に増やしているため、整備工事費用の拡充を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00431)

事務事業名称	みどりの基金				款	05	項	04	目	02	事業	004	整理番号	418	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	423					
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標	03	施策	11	計画事業	03							
令和 5年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	みどりの基金に興味を持つ区民、団体、事業者	根拠法令等	(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民等がみどりの基金へ寄附することを通じて、自分ごととしてみどりの保全・創出に関わることができる。寄附金は公園や市民緑地の整備に充てるなど、寄附の成果が実感できるよう目指す。	活動指標	寄附を集める活動をしたイベント数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内のみどりを保全、創出する事業の財源に充てるため寄附を募る。区を代表する公園等の整備として、荻外荘公園の整備 (荻外荘の復原・整備) に関する事業の財源に充てるため寄附を募る。	指標名 (1)	寄附を集める活動をした、区主催または後援のイベント数
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	年間寄附総額
		指標名 (1)	みどりの基金の年間寄附総額【社会】
		指標説明	
		指標名 (2)	年間寄附件数
		指標説明	みどりの基金の年間寄附件数【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	5	10	13	10	11	10	110.0	95.1	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 千円	17,035	10,000	11,703	10,000	6,986	10,000	69.9		
成果指標 (2)	4 件	174	150	118	150	162	150	108.0		
事業費	5 千円	18,044	14,243	12,401	8,109	7,712	8,901	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,336	2,086	3,909	3,325	2,971	5,723	寄付に繋がる有効なPR活動が検証できるよう、活動指標 (1)、成果指標 (2) を変更しています	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	20,380	16,329	16,310	11,434	10,683	14,624			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	20,380	16,329	16,310	11,434	10,683	14,624		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 418

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	みどりの基金積立	162	件	6,986
	みどりの基金の利子積立			68
	その他 (普及啓発用品購入ほか)			658
取組成果	<p>寄附件数162件のうち、みどりの保全・創出の用途が79件、2,418千円、荻外荘の復原・整備が83件、4,568千円でした。令和5年度末の基金残高は、みどりの保全・創出が25,976千円、荻外荘の復原・整備が45,726千円となりました。</p> <p>そのほか、荻外荘関連刊行物売上35千円、荻外荘オリジナルグッズ売上588千円も荻外荘の復原・整備としてみどりの基金に積み立てました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>杉並区みどりの基金では、用途に「みどりの保全・創出」、区を代表する公園等の整備として「荻外荘公園の整備」を用意し、ともに着実な寄附のもと寄附金残高を増やしています。</p> <p>基金は保護樹林等に係る賠償責任保険の一部に活用していますが、寄附者からは成果が見えにくく、公園や市民緑地 (区名称いこいの森) など、区民利用に供する施設整備に活用することが望ましいと考えます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>荻外荘公園は令和6年12月の開園後も、区を代表する公園への支援を絶やさないため寄附の募集は継続します。しかしながら、用途 (寄附メニュー) である「荻外荘公園の整備」は達成されるため、今後見直す必要があります。</p> <p>改定に取り組んでいるみどりの基本計画の中では、区民一人ひとりがみどりに関心を持ち、自分ごととして考え行動することが重要と考えています。自分ごととして行動する一つの手段として、みどりの基金を位置づけ、区民等に幅広く寄附してもらえるよう取組を進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年7月末時点で42件、1,932,881円の寄附がありました。例年の傾向を鑑みると、年度末までに約150件、約900万円程度の寄附があると見込まれます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>寄附者にとって成果の見える基金用途については、杉並区実行計画において重点事業に位置付けられている市民緑地 (区名称：いこいの森) の整備費用など、区民利用に供する施設整備に活用できるよう、杉並区みどりの基本計画の改定と足並みを揃えながら検討を進めていきます。</p> <p>「荻外荘公園の整備」として集めてきた寄附は令和6年度中に整備費用に充当することで、寄附者の想いが形になるよう取り組んでいきます。また、荻外荘公園に関する寄附については、今後も継続することを予定しており、用途について検討を進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>実行計画で重点事業となっている市民緑地 (区名称：いこいの森) の整備費にみどりの基金を充当することで、寄附者にとって成果が見えるような基金用途に見直していきます。みどりの基金を活用して整備した市民緑地は、具体的な成果として区公式HPやみどりの基金募集パンフレット等で積極的に周知することで、さらなる寄附金の増加につなげていきます。</p> <p>荻外荘公園に関する寄附金については、開園後も引き続き寄附を受け入れる予定であることから、その具体的な使用目的を見直していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00432)

事務事業名称	公衆便所の維持管理	款	05	項	04	目	03	事業	001	整理番号	419	
現担当課名	みどり公園課	係名	管理係			連絡先電話番号	3573		昨年度整理番号	424		
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和28年度											
令和 5年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立公衆便所16所	根拠法令等	(1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第31項、281条第21項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1								97.1	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	24,382	25,419	23,480	30,365	29,494	29,359	特記事項 便所補修工事費 (単年度経費) の増		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	11,409	6,663	16,632	7,566	15,872			6,978
	上記以外の職員	7 千円	1,470	1,838	1,471	1,471	1,332			3,046
総事業費 (5+6+7)	8 千円	37,261	33,920	41,583	39,402	46,698	39,383			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0			0
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	37,261	33,920	41,583	39,402	46,698			39,383

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 419

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	地域別ブロック方式清掃業務委託	15	所	21,170
	公衆便所の光熱水費の支出	16	所	3,265
	永泉寺坂公衆便所補修工事	1	所	1,540
	その他 (公衆便所の樹木管理等)			3,519
取組成果	永泉寺坂公衆便所の補修工事を行いました。また、区内16箇所に設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修・修繕等を実施しました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	年間計画に基づいた定期的な清掃の実施など、計画的に公衆便所の維持管理を実施しました。今後も継続して取り組んでいきます。
事業の方向性・改善策	施設が経年劣化していく中で、清潔で利用しやすい公衆便所を提供していくためには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があるため、バリアフリー化を伴う改修工事を行う必要があります。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案したうえで、計画的に改修をしていきます。また、日常の維持管理面においては、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、特別清掃の実施など利用者のサービスの充実を図っていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も、公衆便所の定期的な清掃・管理及び機能を保持するための維持補修を行っていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00433)

事務事業名称	公園緑地事務所等の管理運営			款	05	項	04	目	04	事業	001	整理番号	420
現担当課名	みどり公園課	係名	管理係	連絡先電話番号	3572			事業	001	整理番号	425	整理番号	425
上位施策No・施策名	11 グリーンインフラを活用した都市環境の形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和47年度												
令和 5年度担当課名	みどり公園課			事業評価区分	施設維持管理								

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	公園緑地事務所 (2 所)、公園管理事務所 (1 1 所)	根拠法令等	(1) 都市公園法、杉並区立公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか事業の事業執行を円滑にする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								78.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	45,096	67,981	64,908	81,527	63,901	79,494	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	29,848	28,096	26,013	27,430	26,009	22,496	馬橋公園新管理棟開設に伴う物品購入等の単年度経費の減により前年より事業費が減となっています。
	上記以外の職員	7 千円	2,573	5,145	2,575	3,310	2,284	4,188	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	77,517	101,222	93,496	112,267	92,194	106,178		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	77,517	101,222	93,496	112,267	92,194	106,178	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 420

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公園緑地事務所等の光熱水費の支出		11	所
	公園緑地事務所等の警備・設備保守等委託	11	所	17,034
	公園緑地事務所等の清掃	9	所	10,980
	公園緑地事務所等の通信運搬費	12	所	1,458
	その他 (公園緑地事務所等の管理運営費 (上記以外))			20,772
取組成果	南・北公園緑地事務所 (2所) 及び公園管理事務所 (13所) の維持管理を行ったほか、馬橋公園新管理棟に必要な物品購入等の開設準備を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	事務所清掃や各種設備保守点検、必要に応じた修繕等を実施しました。また、馬橋公園新管理棟の開設準備を行いました。
事業の方向性・改善策	大規模公園等の施設の維持管理に関しては、老朽化により設備等の修繕が増加しており、引き続き適切な安全管理と計画的な施設保全に取り組む必要があります。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も公園緑地事務所等の管理は適切に行っていきます。	